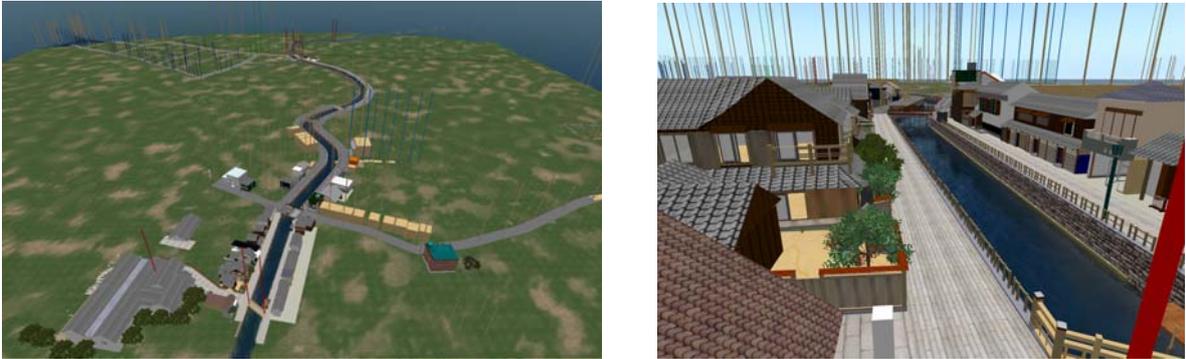


平成 30 年度プロジェクト研究実績報告書

【研究課題名】	香取市佐原の小野川周辺の 3 次元データ化
【研究代表者】	井関 文一（東京情報大学・教授）
【研究分担者】	
【研究の目的】	<p>本研究の目的は、香取市が今後 100 年、200 年、それ以後と続いていくための持続可能な地域社会の体制作り、市民同士の絆作り、そして佐原の歴史遺産の再認識と PR を通した地方創生にある。そのためには、市民一人ひとりが自分の街の歴史や文化、そこに住む人々や地域産業を理解し、積極的な情報発信により、人々の共感を得ることが大切と考える。</p> <p>そこで本研究では、一般の人々に、香取市佐原の小野川周辺の歴史的な雰囲気をもっとよく知ってもらおうと、小野川周辺の町並みおよび歴史的建造物等を 3 次元データ（3DCG）化し、近年のバーチャルリアリティ技術等を用いてリアルに体感してもらうことを目的とする。これにより、佐原の小野川周辺の観光地としての魅力をより詳細に PR することが可能となる。</p>
【研究報告】	<p>小見川周辺の一部の 3 次元データ化は完了したが、マップ全体としては残念ながら研究期間中には満足に行く完成度には至らなかった。原因としては、再現するマップ範囲を大きく取りすぎたこと（1km×1km）と開発人員の不足であった。本プロジェクトは平成 30 年度で終了したが、今後は再現する範囲の縮小や人員の確保を行い、一定の水準（一般公開可能）を目指して引き続き研究を続けていきたい。</p>
	
	小野川周辺のモデリング（全景と川岸。ポールは位置取りのためのもの）
【成果の公表】	<p>OpenSimulator の Japan Open Grid (JOG : https://www.jogrid.net) にて作成途中のものであるが公開中である。</p>